



2015年3月14日・北陸新幹線開業



北陸新幹線開業と 金沢の二次交通について



平成26年11月10日

金沢市都市政策局交通政策部 浅川 明弘

I. 東京～金沢間直通 速達タイプ（最速達は2時間28分）

Ⅱ.東京～金沢間直通 停車タイプ

Ⅲ.金沢～富山間運転 シャトルタイプ

IV.東京～長野間運転 現長野新幹線タイプ

3

グランクラス (プレミアムブランド)

1両18席



**伝統を感じる空間と先進の機能を持つシートで
ゆとりのある空間を演出**



- ・ 漆をイメージした
色彩
(壁・妻壁など)
- ・ 格子をイメージ
した模様
(座席シート)

2. 金沢駅



2015年3月14日・北陸新幹線開業

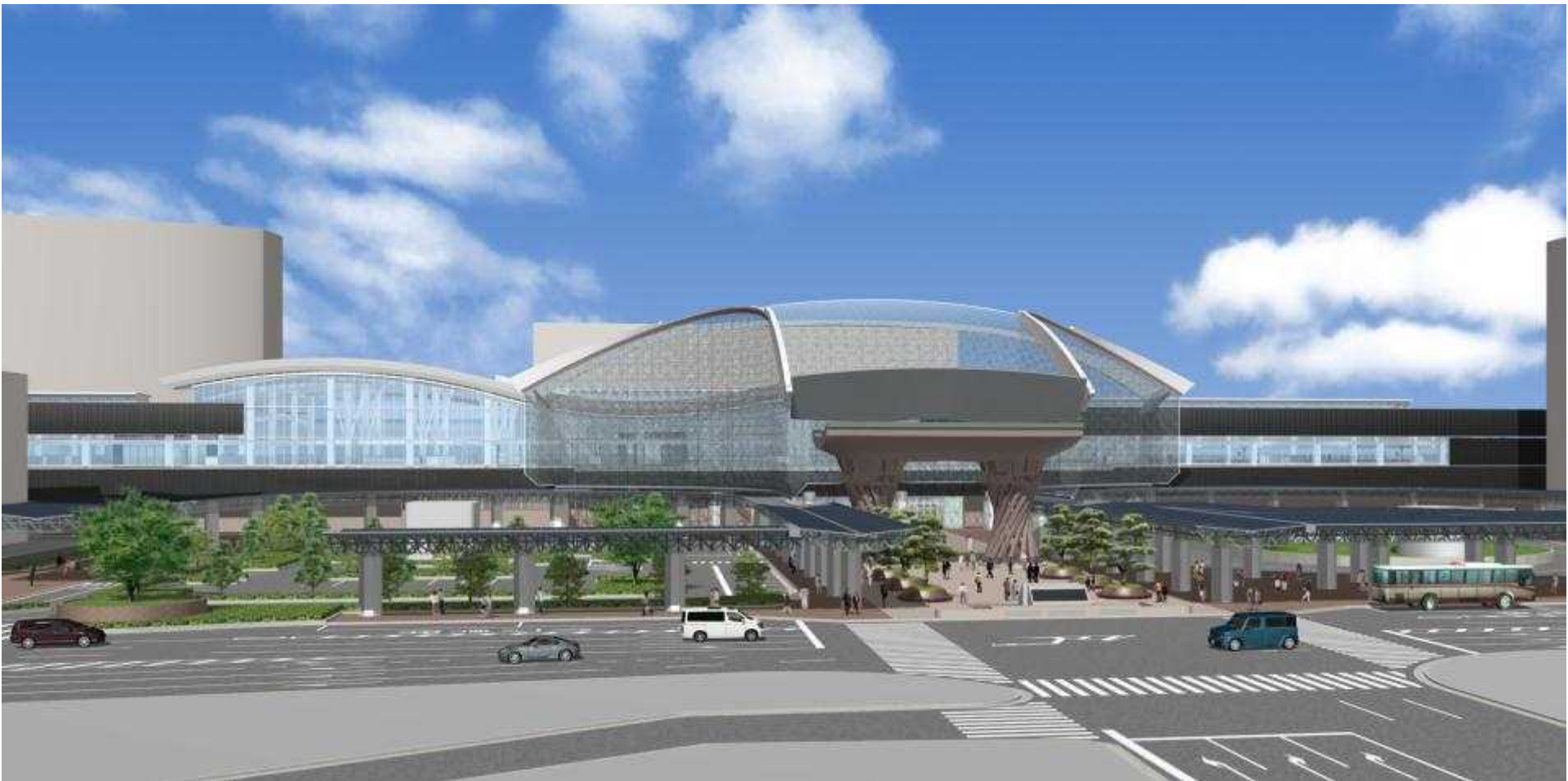
- **世界で最も美しい駅 14駅**
(H23. 12. 27 米国 旅行雑誌「トラベル・レジャー」ウェブ版)
- **世界で最も素晴らしい駅 ベスト10**
(H25. 2. 22 米国 天気予報チャンネル「ウェザーチャンネル」)



新幹線金沢駅舎デザイン



「まちが見える、心と体に気持ちがいい駅」



ー 金沢のまちを流れる水、「伝統と創造」の調和をイメージした駅 ー

駅舎内装の伝統工芸の活用



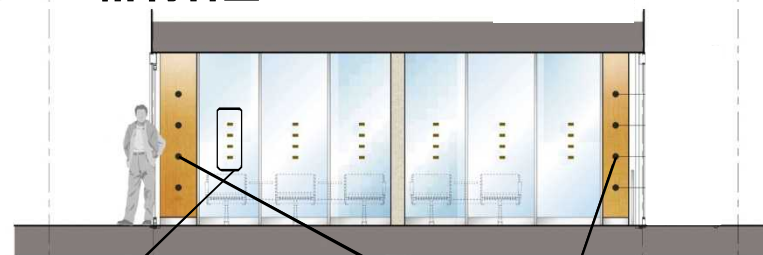
2015年9月14日 土曜 新幹線開業

ホーム階



柱部分：金箔

ホーム階 待合室



合わせガラス（金箔挟込）

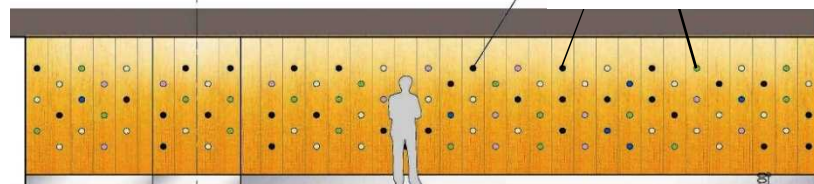
県内各種伝統工芸

中2階 連絡通路



中2階 待合室

県内各種伝統工芸



中2階 トイレ

1階 改札



改札内柱：和紙（合わせガラス）

加賀友禅(合わせガラス)



和紙（合わせガラス）

金沢駅東広場（H 1 7 年 3 月 供 用 開 始）



➤ 規模

- ・地上 約19,400m²
- ・地下 約10,550m²

➤ 事業費

- ・広場整備 約170億円
- ・大屋根 約 40億円

➤ 愛称「もてなしドーム」

➤ 構造

- ・アルミ合金パイプ立体トラス

➤ シティ・ゲート

- ・鼓門（つづみもん）

金沢駅西広場（H26年3月供用開始）



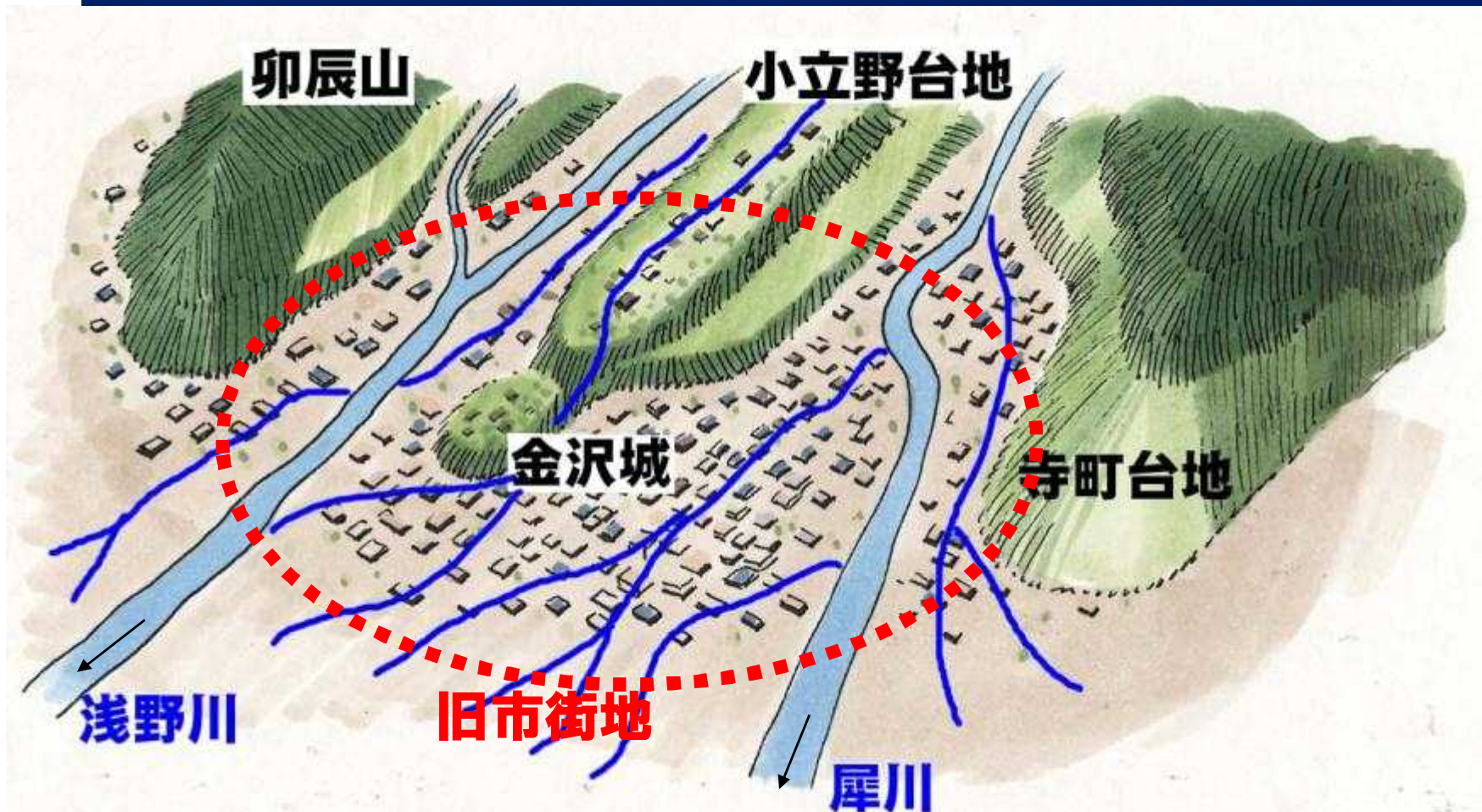
広場を拡張し、交通結節点としての機能を強化

- **事業費** 約26億円（社会資本整備総合交付金）
- **面積** 約27,000㎡



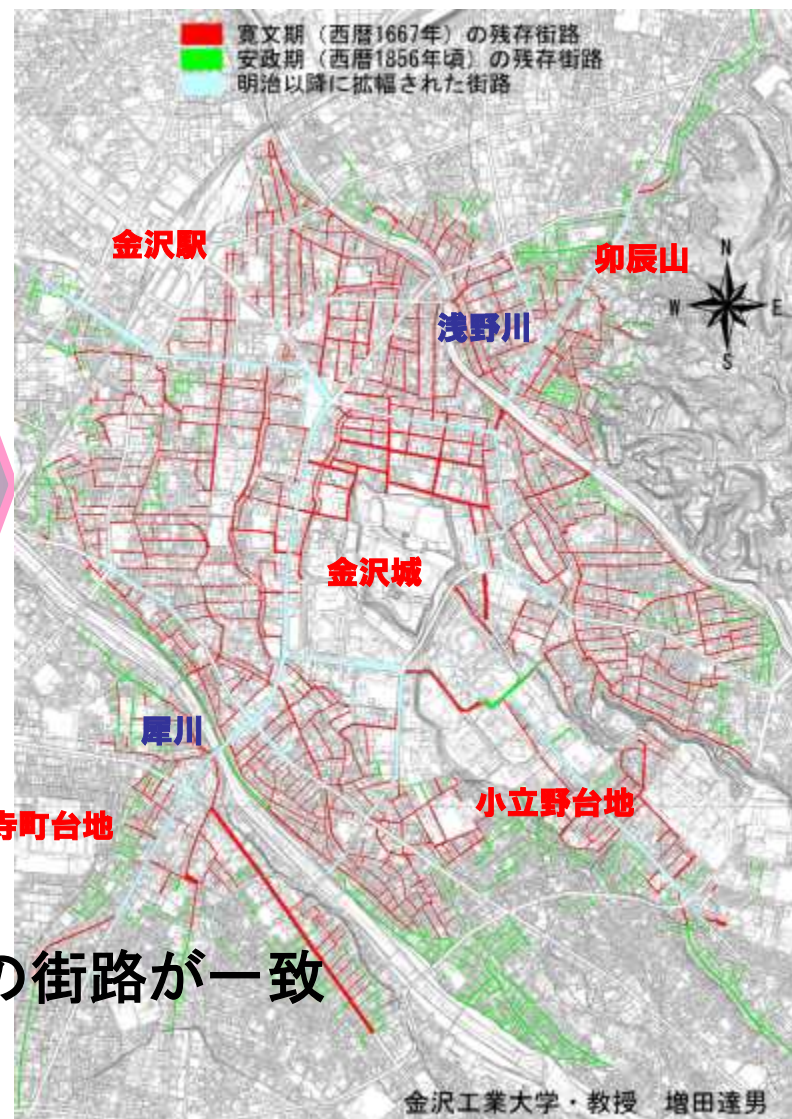
3. 金沢市の概要と交通

- 人口 464,374人 (H26.8.1現在)
- 面積 468.22km²
- 1583年に前田利家が入城し、現在の都市構造が造られる



交通（道路）

寛文年間(1661～1672年)



城下町の都市構造が残る ※約180kmの街路が一致
歩くことが前提＝狭隘な道路が多い

交通（鉄軌道）

■路面電車

➤昭和42年(1967)廃止

■鉄道

➤北陸本線(JR西日本)

➤石川線(北陸鉄道)

➤浅野川線(〃)

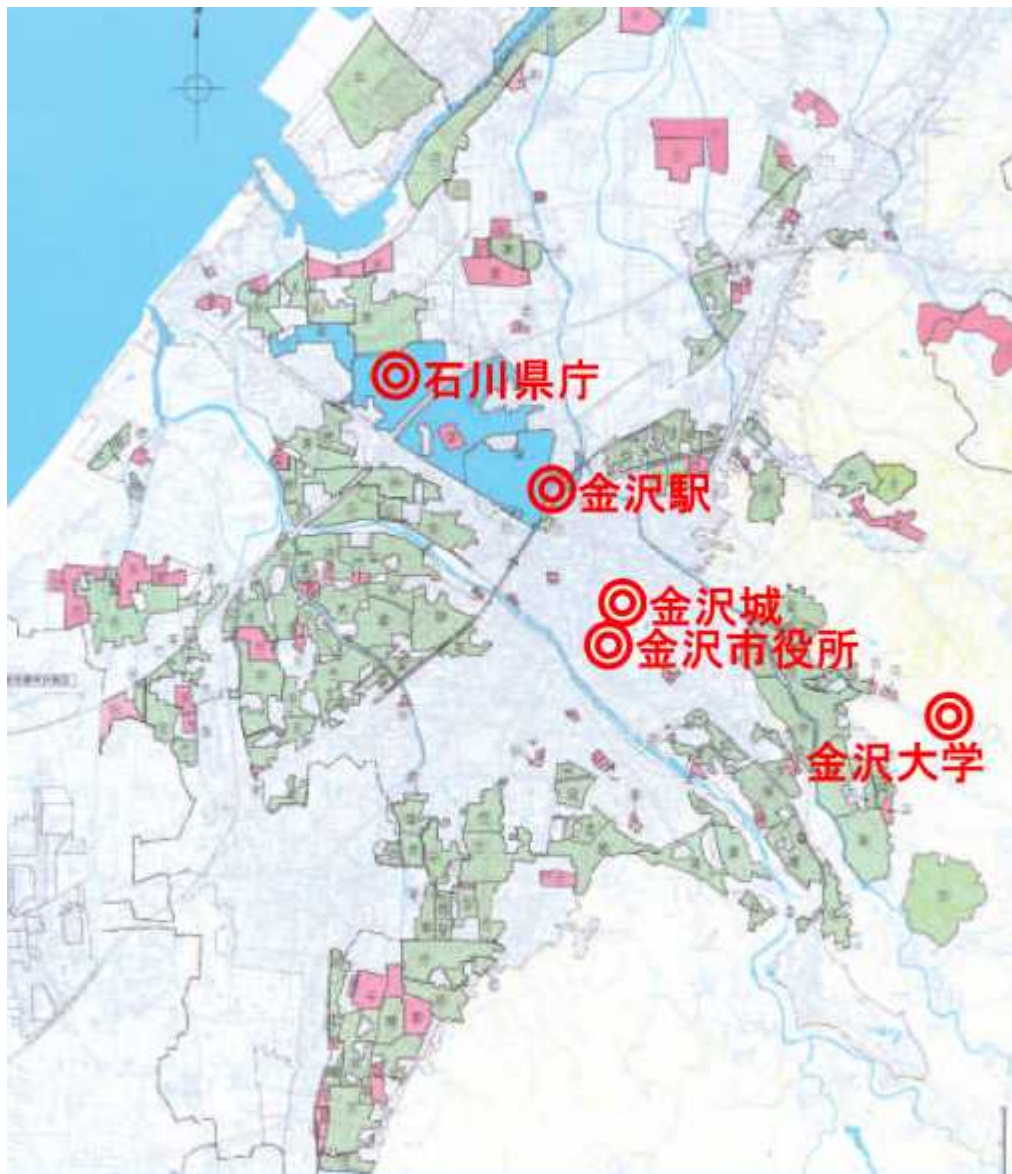
➤2路線廃止



交通（路線バス）



基盤整備（区画整理）と都市の拡大



➤ 区画整理事業

区画整理／市街化区域（h a）
＝ 3, 838 / 8, 598
→ 約 45%

➤ D I D の推移

（2010年／1970年）

①人口（万人）

37.7 / 25.1 = 1.5 倍

②面積（k m²）

61.0 / 25.0 = 2.4 倍

③人口密度（人／h a）

61.9 / 100.5 = 0.6 倍

基盤整備（都市計画道路）



これまでの交通政策(～1999年)

➤1965(S40)年頃、1人乗りマイカー規制を試行

- 1971年：朝のバス専用レーン導入(3区間、L=4,120m)
- 1984年：バス接近表示システムの導入(全国で3番目)
- 1986年：夕方のバス専用レーン導入(2区間、L=2,530m)
- 1989年：観光期P & Rの本格実施
- 1990年：自転車等放置防止指導区域の設定(3地区)
- 1991年：マイカー自粛運動開始(月曜はマイカー通勤自粛の日)
- 1992年：違法駐車等防止重点地区の指定(国道157号)
交通指導員による違法駐車等防止活動開始
- 1994年：リバーシブルレーンの本格実施(L=550m)
金沢市自転車等放置防止条例の制定
- 1995年：時差出勤推進の取り組み開始
- 1996年：K.Park(通勤時P & R)の本格実施
- 1999年：オムニバスタウンの指定(全国で2番目)
コミュニティバス(金沢ふらっとバス「此花ルート」)運行開始

これまでの交通政策(2000年～)



- 2001年：**バスく～る**（PC、携帯電話によるバス運行情報提供システム）
- 2002年：バス専用レーン遵守のための街頭指導を開始
PTPS本格導入（都心軸**2.5km**に設置）
- 2003年：**歩けるまちづくり条例**の制定
- 2004年：駐車場案内システムの運用開始（新システム14駐車場参加）
交通ICカード（ICa）導入
- 2006年：**バストリガー方式**の導入（金沢大学周辺で実施）
金沢市駐車場適正配置条例の制定
横安江町商店街（トランジットモール）フリーライド実施
- 2007年：**新金沢交通戦略**の策定 ⇒ **北陸新幹線開業に向けての計画**
金沢市公共交通利用促進条例の制定
- 2009年：「まちなかシャトル」バス実験運行
- 2010年：「エコ通勤促進協定」締結（NTT西日本北陸、北國銀行）
- 2012年：公共レンタサイクル「**まちのり**」スタート
シルバー定期券購入補助の開始
- 2014年：**自転車の安全な利用の促進に関する条例**の制定
金沢駅東広場交通案内板の稼働
城下町周遊バス「左回りルート」本格運行開始

4. 二次交通の充実

主な観光地①



2015年3月14日・北陸新幹線開業



(兼六園・特別名勝)



(金沢城・史跡)



(金沢21世紀美術館)



(近江町市場)

主な観光地②



2015年3月14日・北陸新幹線開業



(ひがし茶屋街・重伝建)



(にし茶屋街)



(主計町茶屋街・重伝建)



(長町武家屋敷跡・景観地区)

主な観光地③



(卯辰山寺院群・重伝建)



(寺町寺院群・重伝建)



(小立野寺院群)



(尾山神社・国重文)

➤シャトル系バス及び主要観光地別の路線バス
について発車情報を案内するシステムを整備



金沢駅東広場 総合交通案内所（改修中）

公共交通の利用に関する問い合わせに対応するため
交通コンシェルジュを配置（H27年2月～）



分かり易く便利なバスを整備



一金沢駅から主要観光地を巡る—
「城下まち金沢周遊バス」



一金沢駅と中心商店街を結ぶ—
「まちバス」(金沢ショッピングライナー)



一金沢駅から兼六園に直行—
「兼六園シャトル」(まちなかシャトル)

シャトル系バスの概要

■ シャトル系バス

名称 項目	兼六園シャトル (まちなかシャトル)	城下まち金沢周遊バス (右回りルート) (左回りルート)		まちバス (ショッピングライナー)
	北陸鉄道(株)	北陸鉄道(株)		金沢商業活性化センター 西日本JRバス(株)
運行主体 交通事業者	北陸鉄道(株)	北陸鉄道(株)		金沢商業活性化センター 西日本JRバス(株)
運行目的	観光客が主。 都心軸から兼六園直行。 分かり易さが向上。	観光客が主。 主要観光地を巡る。 利便性、回遊性が向上。		ショッピング客が主。 回遊性が向上。 まちの賑わいを創出。
運行時間、頻度 (金沢駅発)	9:30~17:50 20分間隔	8:30~18:00 15分間隔	8:35~18:05 15分間隔	9:40~20:00 20分間隔 (ただし、土日祝日)
運賃	平日:おとな 200円 こども 100円 土日祝日:半額	おとな 200円、こども 100円 1日フリー券:おとな 500円 こども 250円		土日祝日: おとな 100円 こども 50円
主な経由地	駅東口→武蔵ヶ辻→ 香林坊→広坂→兼六園 →広坂→香林坊→ 武蔵ヶ辻→駅東口	兼六園・金沢城公園、近江町市場、 金沢21世紀美術館、長町武家屋敷、 尾山神社、ひがし茶屋街・主計町、 にし茶屋街・忍者寺など		駅東口→武蔵ヶ辻→ 香林坊→片町→タテマチ →広坂→香林坊→ 武蔵ヶ辻→駅東口

バス停に案内板設置（H27. 2 予定）



2015年3月14日・北陸新幹線開業

➤ 主要観光地のバス停に、バス路線と周辺案内図を記載した案内板を設置（H26・H27）

シャトルバス&周遊バスのご案内

Guidance of the shuttle bus & Excursions bus

S 第六園シャトル

第六園シャトルは、第六園（石川門内）と第六園下（石川門内）の間を循環するシャトルバスです。所要時間は約10分です。

RL 地下まちめぐりバス

地下まちめぐりバスは、地下鉄各駅と主要観光地を結ぶバスです。所要時間は約30分です。

LL 地下まちめぐりバス

地下まちめぐりバスは、地下鉄各駅と主要観光地を結ぶバスです。所要時間は約30分です。

M まわバス

まわバスは、市内主要観光地を循環するバスです。所要時間は約60分です。

路線名	バス停	所要時間
21番 金沢駅～市街地	金沢駅	10分
	市街地	10分
	金沢駅	10分
	市街地	10分
22番 金沢駅～市街地	金沢駅	10分
	市街地	10分
	金沢駅	10分
	市街地	10分
23番 金沢駅～市街地	金沢駅	10分
	市街地	10分
	金沢駅	10分
	市街地	10分

金沢バスガイド
Kanazawa Bus Guide
802

各種交通ガイド・ツールの整備



2015年3月14日・北陸新幹線開通



各種のツールを整備

➤ガイドブック

➤スマートフォン、携帯電話など

金沢観光地バス経路検索サイト



ケータイ・スマホで
行きたい観光施設の
ルート検索をしたい方は
こちら

現在地から目的地までバスを
ご利用なさる場合は、現在地
から目的のバス停、バス停か
ら目的地までのルートはもち
ろん所要時間やバス待ち時間
も表示されます。

■ご案内エリアは、金沢市内に限ります。

■ルート検索の対象となるバスは、
北鉄路線バス・城下まち金沢周遊
バス・兼六園シャトル・ぶらっと
バス・JR路線バス・まちバスです。



コミュニティバス「金沢ふらっとバス」



2015年3月14日・北陸新幹線開業



- ・ 此花ルート (H11. 3)
- ・ 菊川ルート (H12. 3)
- ・ 材木ルート (H15. 3)
- ・ 長町ルート (H20. 11)

まちなかの交通空白地域の解消



公共レンタサイクル 「まちなり」(H24. 3～)



- 金沢市が実施する「公共レンタサイクル」の愛称。
- まちなかに19カ所のサイクルポートを設け、155台の自転車を分散配置。
- どのポートでも自転車の貸出・返却が可能。
- 自転車を「個人利用の公共交通」として共同利用することで、以下の3つの効果発現を目指す。



●まちなりホームページ

<http://www.machi-nori.jp>

まちなり

- ①市民や来街者の利便性・回遊性の向上
- ②まちなかの賑わい創出
- ③環境にやさしいまちづくり(クルマからの転換)

「まちのり」 サイクルポート



2015年3月14日・北陸新幹線開業



- 無人で自転車を貸出・返却できる「サイクルポート」を19カ所設置
- 「まちのり」事務局でも自転車の貸出・返却が可能(有人対応)
- 概ね300m間隔で配置
- 鉄道駅や主要観光施設・公共施設に配置



基本料金: 1日200円

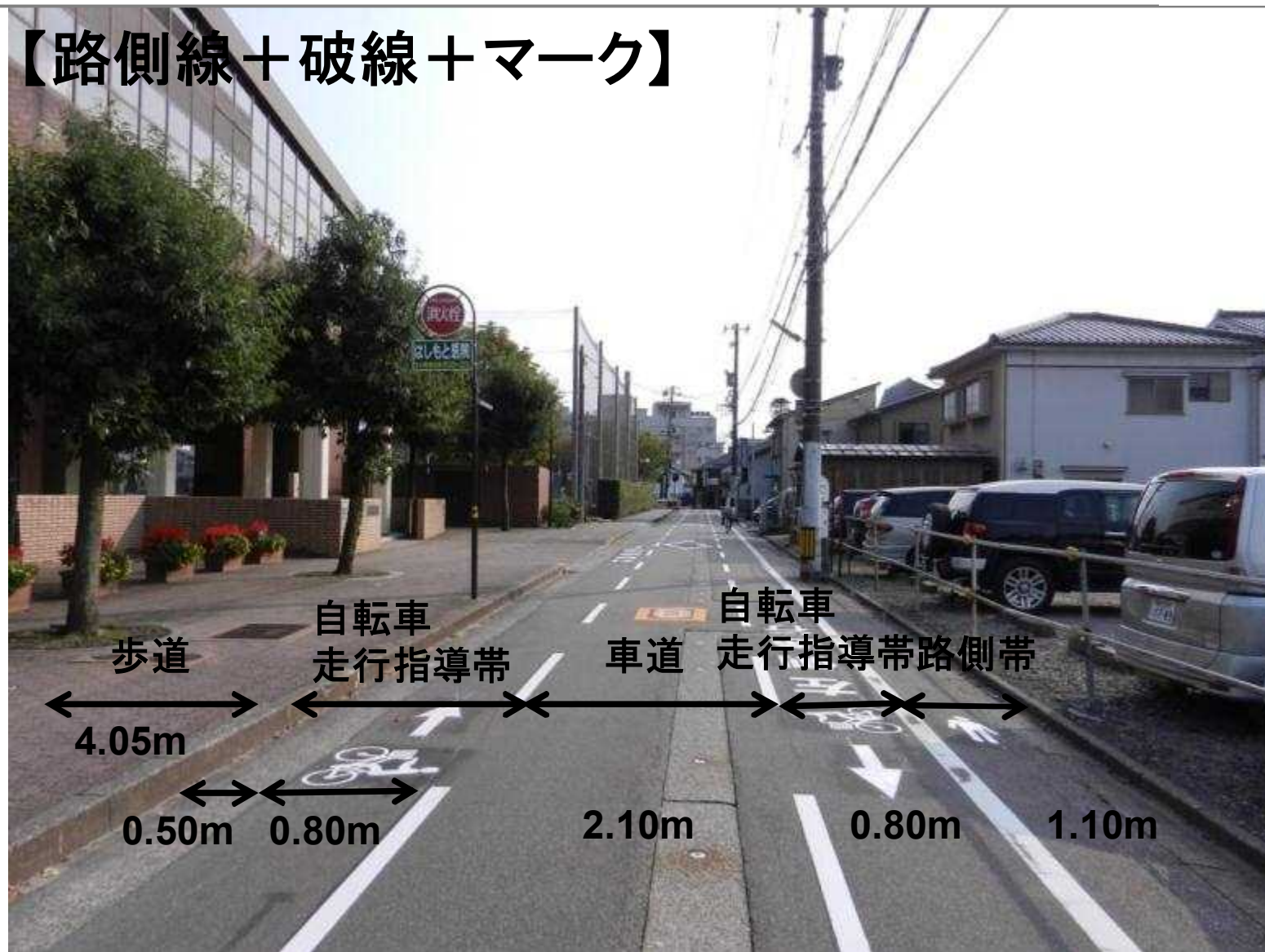
貸出から30分以内に返却すれば
繰り返し利用可能

自転車の利用環境整備 「走行指導帯」



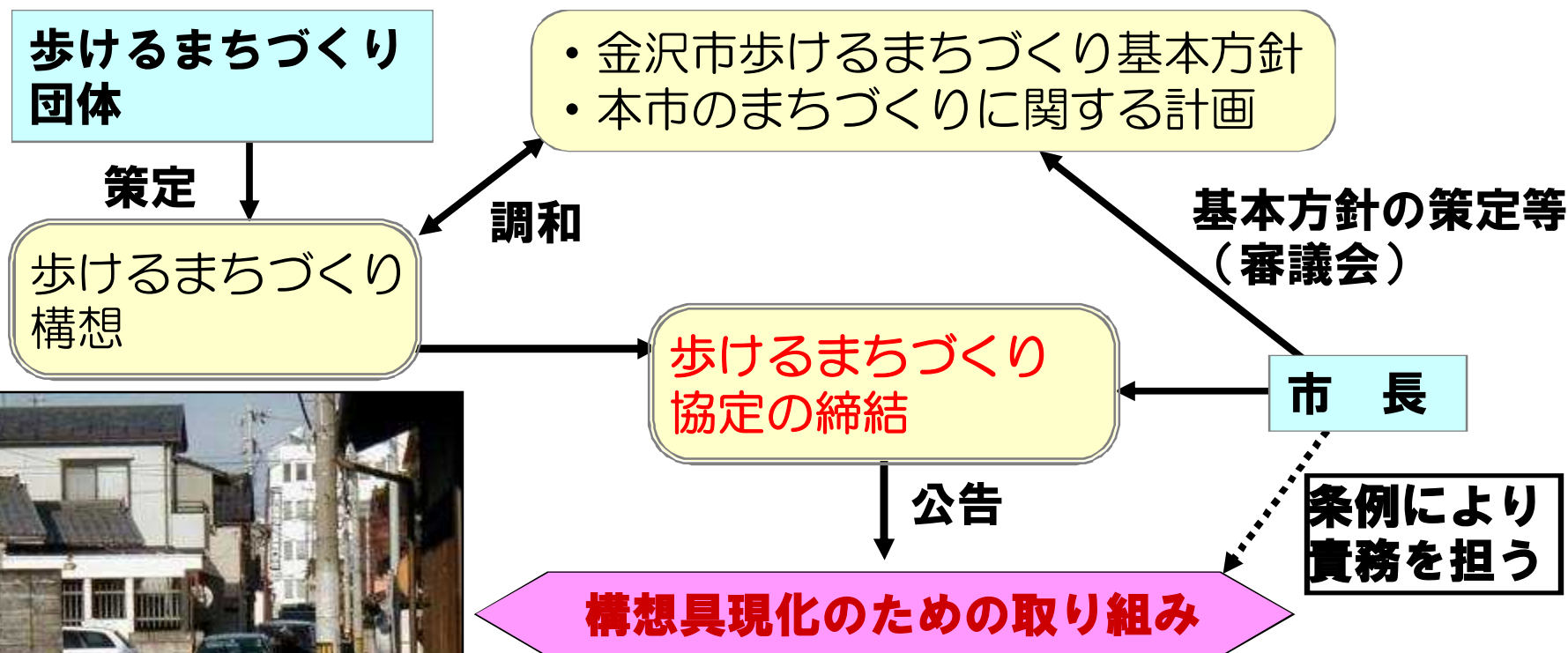
2015年3月14日・北陸新幹線開業

【路側線＋破線＋マーク】



歩けるまちづくりの推進 「まちづくり協定」

- ・ 歩く人にやさしい交通環境の実現
- ・ まちを歩く意識の醸成
- ・ まちの回遊性の向上



「歩けるまちづくり協定」締結地区



2015年3月14日・北陸新幹線開業



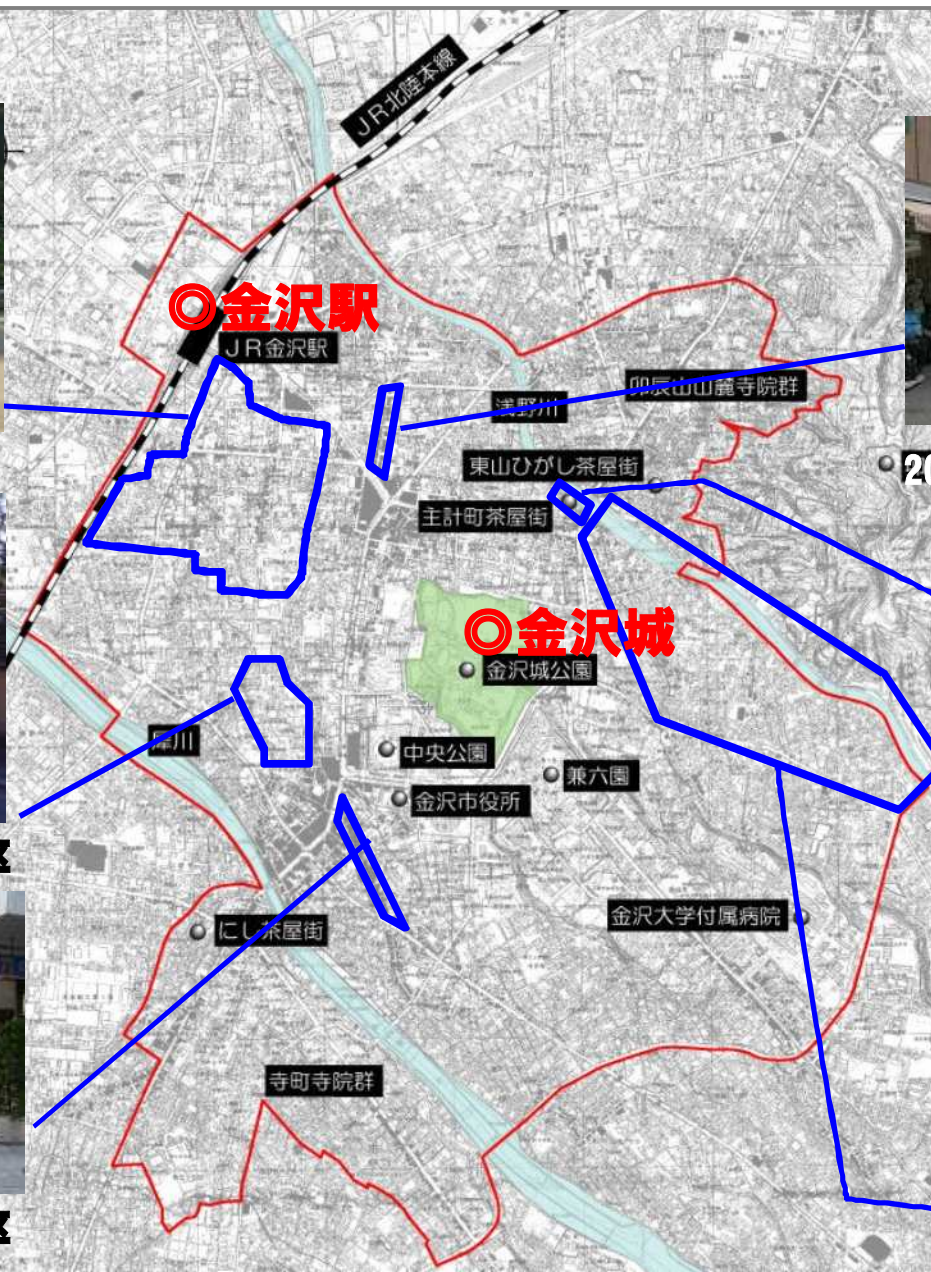
2011.7 芳齋地区



2008.10 長町武家屋敷地区



2005.10 堺町商店街地区



2006.4 横安江町商店街地区



2006.7 主計町地区



2009.10 材木地区

歩けるまちづくり協定（事例） 「長町武家屋敷地区（H20年10月）」

金沢特有の歴史と文化の彩りが見られるまち＜A=約9.5ha＞

- ・ 幹線道路（国道157号）を避け、近道（抜け道）となっていた
→ 協定を締結し、通過交通の抑制を図る（L=約60m）

交通規制の見直し
（通過交通を排除）

- ・ 365日の歩行者専用化
（ふらっとバス除く）

（7:00～19:00）

交通量が半減

（規制前）約5,000台／12時間

（規制後）約2,200台／12時間



5. 交通とまちづくり

新金沢交通戦略(H19年3月)

- 公共交通を利用することの重要性

①少子・高齢化の進展

②環境対策の推進

③まちの賑わい創出

- 道路を始めとする**交通基盤の整備には限界**があるという特性

- 北陸新幹線の金沢開業**を踏まえ、マイカーを利用しない来街者の移動手段を確保する必要性

- 以上のような観点から、**歩行者と公共交通を優先**するまちづくりを目指す必要がある。

この「交通体系に関する基本的な考え方」を実現するために、

- 交通環境の違いに基づき本市を**4つのゾーンに区分**
- 各ゾーンやゾーン間の連携等の「**基本方針**」
- 「基本方針」に基づき実施すべき「**具体的な施策**」を掲げる

新金沢交通戦略(ゾーン区分)



2015年3月14日・北陸新幹線開業



独自条例によるまちづくりの推進①



➤ 歩行者・公共交通優先のまちづくりを進めるための条例

金沢市における歩けるまちづくりの推進に関する条例 (平成15年4月施行)

市民が安全かつ快適に歩くことのできるまちづくりを総合的に推進します。

金沢市における駐車場の適正な配置に関する条例 (平成18年4月施行)

駐車場の適正配置という側面から、市中心部への過度なマイカー流入の抑制や歩行者の安全確保を図ります。

金沢市における公共交通の利用の促進に関する条例 (平成19年4月施行)

上記2つの条例と相まって、公共交通の利用を総合的に促進し、良好な都市内交通環境の形成を図ります。

独自条例によるまちづくりの推進②



➤ その他関係する個別のまちづくり条例

金沢市自転車等駐車場条例（平成3年4月施行）

金沢市違法駐車場等の防止に関する条例
（平成4年10月施行）

金沢市自転車等の駐車対策及び放置防止に関する条例
（平成6年12月施行）

金沢市における自転車の安全な利用の促進に関する条例
（平成26年4月施行）

自転車の安全な利用を促進するため、市民、自転車利用者、自動車運転者等が一体となって、安全で良好な生活環境の確保を図ります。

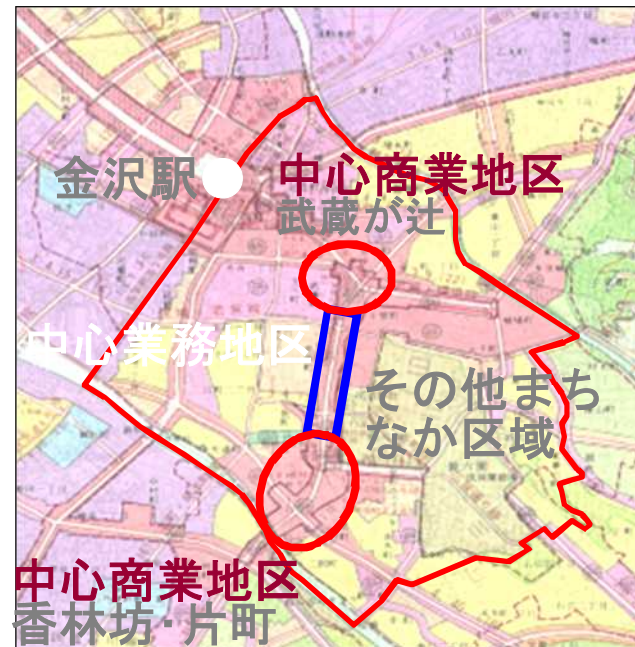
課題と対策一気付くと駐車場が！－ 「まちなか駐車場の抑制」届出制度

「金沢市駐車場適正配置条例」

新設・変更届出義務を創設

- いたずらな駐車場化の抑制と適正配置の推進
- 適切な現状把握による施策の展開
〈適用除外〉
 - ・自己敷地の居住者用自家用車
 - ・小規模駐車場(駐車マスの合計50㎡未満)

相談窓口の創設



届出制度の中で審査する内容

「まちなか駐車場設置基準」(地区ごとに設定)

- ・交通渋滞の緩和に関する事項
- ・歩行者の安全性及び回遊性の確保に関する事項
- ・まちなかにふさわしい都市環境の形成に関する事項
- ・まちなみと調和した景観への配慮に関する事項

課題と対策－駐車場は不足？－

「まちなか駐車場の抑制」 附置義務緩和

緩和条件

- ・公共交通の利便性が高く、利用促進により駐車需要が抑制される場合

地区要件

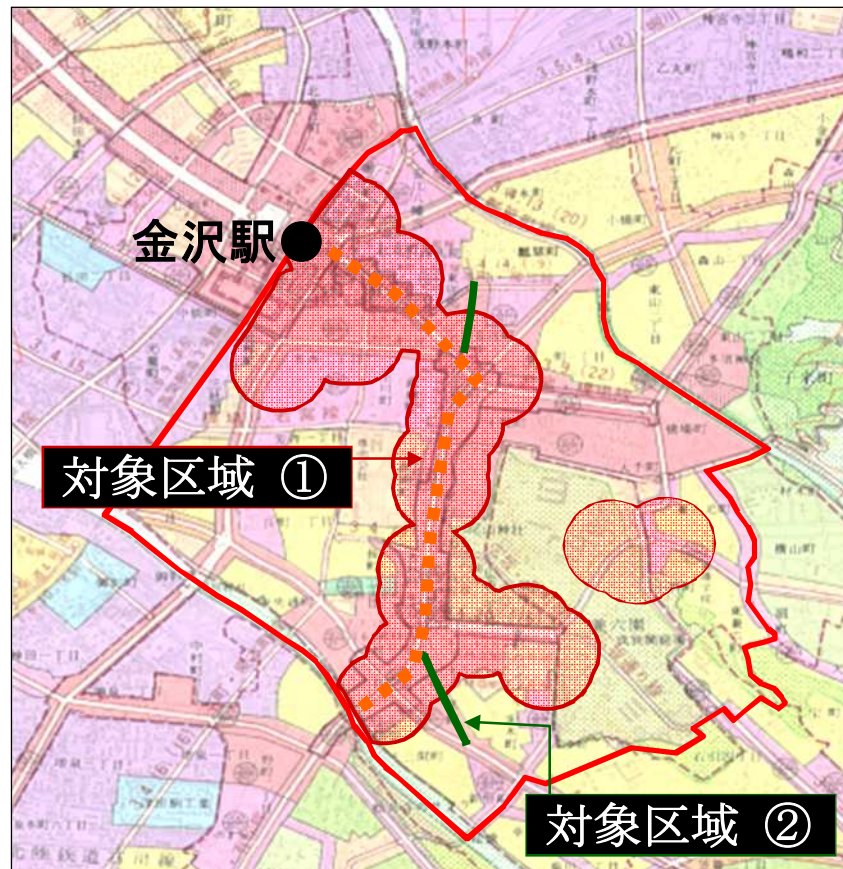
- ①公共交通の利便性が高い場所
 - ・多方面に行けるバス停の半径200m
- ②歩けるまちづくり協定区域
 - ・車両通行禁止 等

利用促進の取組

- ・バス待ち環境整備
- ・各種公共交通利用促進の取組
- ・自動車利用抑制に資する取組 等

緩和の概要

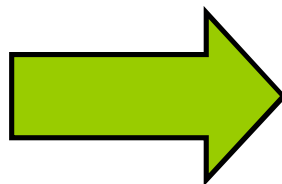
- ・一般車の算定台数を0台まで緩和可能
- ※ 少なくとも1台の車いす用駐車場は設置
- ※ 荷捌き用駐車場の規定は緩和の対象外



適正配置条例の
設置基準との
整合性の確保

課題と対策ーバスは遅れる？ー 「バスの定時性確保」 バス専用レーン

バスターミナル
専用車線に



(交通実験2012)



本格実施
H24. 8. 6から

バスと一般車が
混在に

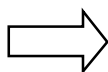
課題と対策ータクシーも公共交通？ー

「タクシーの違法駐車」 バスベイとの分離

香林坊バス・タクシーベイ分離本格導入の判断指標

結 果

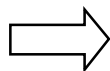
バス・タクシーベイ
の安全性



安全性が向上

- タクシードライバーの3割が安全性向上を実感
- バスドライバーの8割が安全性の向上を実感

関係者の合意



半数以上の賛成

- タクシー利用者（7割）
- △タクシードライバー（5割）
- バスドライバー（9割）
- 商店街等（本格実施を強く希望）

（交通実験2011）

実験前



実験中



違法駐車排除

H24年10月1日～本格実施

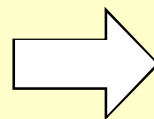
課題と対策ーバスは不便？ー

「バスの利便性向上」 バストリガー方式

- 事前に設定した**採算ライン**を満たさなければ元に戻すことを約する
協定（バストリガー協定）をバス事業者と地域住民等との間で締結
することを条件に、**値下げ等**の利便性向上策を導入
- 市は、公共交通利便性向上の実証実験と捉え、**協定締結**を仲介



事業者が値下げ・増便等の利便性向上策を実施しても、**すぐに既得権益化してしまい、利用者が減少してしまう**



上記のような仕組みを構築することにより、**住民等に対し、バス利用へのインセンティブを付与**

平成18年度に金沢大学と北陸鉄道で協定締結

課題と対策ーマイカーは便利ですがー 「マイカーの流入抑制」 パーク＆ライド

観光や通勤時のパーク＆ライドを推進

第62回 金沢百万石まつり 6月1日(土) は
パーク・アンド・バスライド
をご利用ください。

駐車料金・・・無料
バス・・・路線バスを利用
※乗車は下記運行表をご覧ください。
※駐車場高車の場合は利用できないことがあります。

市内中心部は大変混雑します。
バス・鉄道等の公共交通をご利用ください。

【臨時駐車場】 駐車場利用時間10:00~22:00
※22:00に駐車場を閉鎖します。
【大田田大橋・越谷工業団地 駐車場案内図】 約270台
※バスの乗り降りは、金沢駅へは11:30から、片町へは13:00からとなります。



県建設業会館
臨時駐車場
(H26.5.4)



まちなか外縁にある臨時駐車場から
路線バス等を利用 (GW、百万石まつり)



郊外の商業施設等の駐車場から
路線バス等を利用 (通勤・通学)

課題と対策ー公共交通がない！ー

「郊外の移動手段確保」 地域運営バス



■郊外地域運営バス等運行費補助（市の支援制度）

➤目的 交通不便地域（1日当たりの路線バス等運行本数が10本以下の区域）での公共交通の補完を支援

➤内容 運行経費と運行収入の差額（運行赤字額）を対象に、地域の世帯数を考慮して、補助

➤補助率

（世帯数） 100以上250未満	8／10
250以上1,000未満	7.5／10
1,000以上2,000未満	7／10
2,000以上	6／10

➤実績 2地区で運行（マイクロバス、ジャンボタクシー）

6. 第2次金沢交通戦略の策定

世界の「**交流拠点都市金沢**」をめざして(H25年3月)

○重点方針 交通基盤(新幹線に対応した交通基盤の整備)

- ・交通ネットワークの確立
- ・国際物流拠点の拡充
- ・国際観光拠点の充実



重点戦略計画(平成26年2月)

○都市像を踏まえ、十年間(平成34年度)を見据えて、講じるべき施策をとりまとめ



第2次金沢交通戦略の策定(平成26・27年度)

「**新金沢交通戦略**」の計画期間 ➡ **平成18年度～平成27年度**

「第2次金沢交通戦略」 策定の論点



■新金沢交通戦略の課題

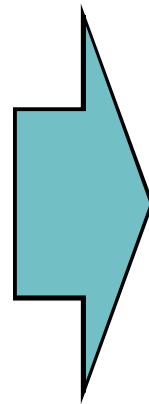
- ・ゾーン間の連携強化
- ・周辺自治体との連携強化

■社会経済情勢

- ・超高齢化、人口減少
- ・環境負荷の低減

■金沢市における変化

- ・北陸新幹線の開業
- ・金沢港の整備
- ・中心市街地の求心力低下



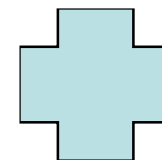
キーワード

(継続)

➤歩行者と公共交通の優先

(追加)

➤まちなかを核に
ネットワークでつなぐ



(都市計画の視点)

「新金沢交通戦略(現行)」の課題 ゾーン間の連携(公共交通重要路線)



目指すサービス水準

- ①朝の通勤時間帯⇒ほぼ待たずに利用可能（概ね5～10分間隔）
- ②夕方の帰宅時間帯⇒ほぼ待たずに利用可能（概ね10～15分間隔）
- ③昼間の時間帯⇒少ない待ち時間で利用可能（概ね10～20分間隔）
- ④その他の時間帯⇒1時間当たり2～3便程度を確保
- ⑤早朝・深夜⇒利便性確保（朝は6時から夜は24時まで運行）
- ⑥定時性・速達性の確保⇒バス専用レーン、
公共交通優先システム（PTPS）の導入、特急バスの運行等
- ⑦バス待ち環境の整備⇒バス位置情報提供システムによる情報提供等
- ⑧乗り継ぎ利便の確保⇒乗り継ぎ時間、乗り継ぎのための移動距離等

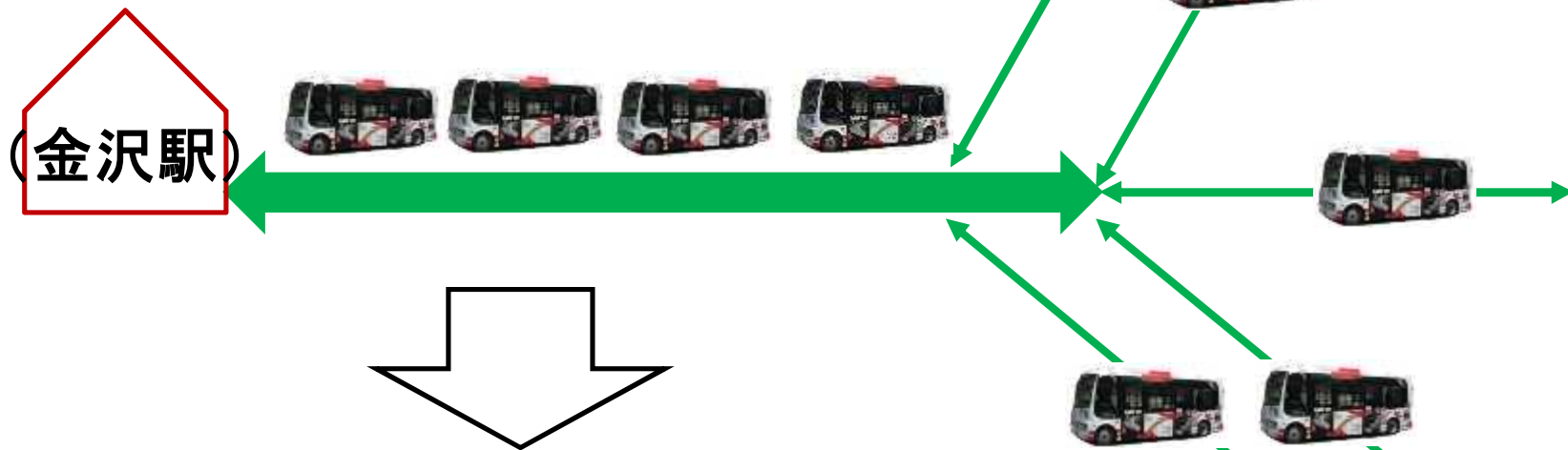
「新金沢交通戦略(現行)」の課題 ゾーン間の連携(ネットワーク)



現在の公共交通(イメージ図)

郊外の路線バスは頻度や時間帯等に課題

都心軸には往復1,800便／日の路線バスが走行



郊外からの路線バスが都心軸に集中

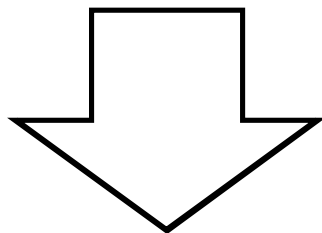
- 定時性・速達性など、利用環境の向上が課題
- 路線バスを中心とする交通体系では限界がある

将来の公共交通の一例(イメージ図)

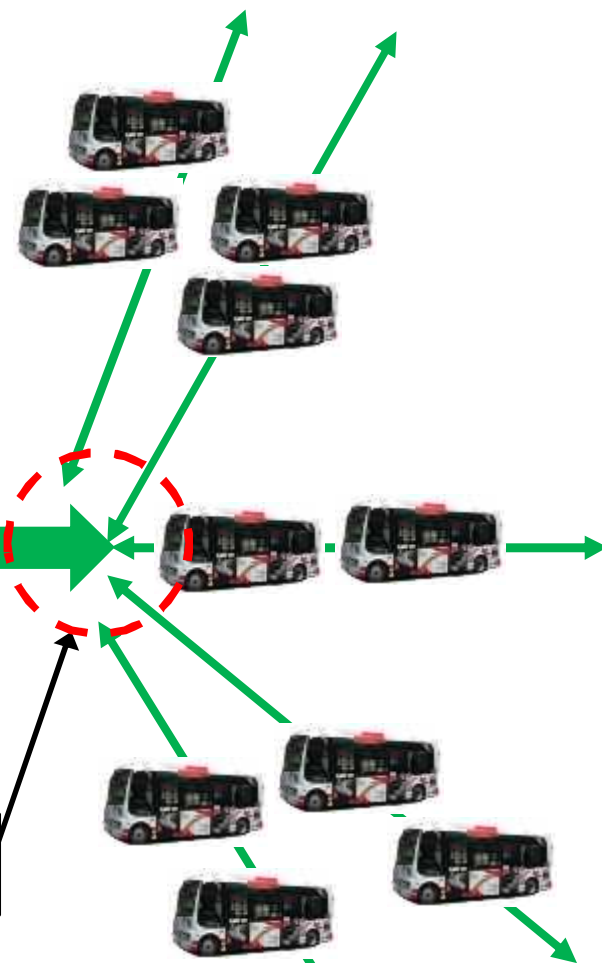
郊外の路線バスは頻度や時間帯等を改善

都心軸にはLRT、BRT等が走行

(金沢駅)



乗り継ぎ拠点



- 定時性・速達性など、利用環境が飛躍的に向上
- 郊外からまちなかへの公共交通の利便性も向上

路線バスは乗り換えて利用が原則

新しい交通システム導入について(参考)



■これまでの検討経緯

- ・ S49～52: 金沢都市圏総合交通体系調査を機に**新交通システムの検討を開始**
- ・ S59～61: 「金沢都市圏総合交通計画」で「新しい交通システム」の導入を提言
- ・ H7: 「金沢世界都市構想」を策定(新交通システムの導入を位置付け)
- ・ : **「中核市における新・交通システム研究会」設立**(現在も活動を継続)
- ・ ～H10: AGT(無人自動電車)、ガイドウェイバス、LRT等を検討
- ・ H12: 「新金沢市総合交通計画」策定(新しい交通システムを視野に入れた計画)
- ・ : 「金沢新交通導入促進期成同盟会」設立(商工会議所)
- ・ H11～13: **新しい公共交通システム検討委員会による調査検討**
- ・ ⇒ 金沢都市圏における新しい交通システム導入の可能性と方向性を整理
- ・ ⇒ **県市による交通社会実験開始**(現在も継続して各種実験を実施)
- ・ H19: 「新金沢交通戦略」策定(新しい交通システム導入に向けた交通環境整備)
- ・ H26: **新しい交通システム導入検討調査**(各種の交通システムを比較検討)
- ・ : 「第2次金沢交通戦略」策定に着手



2015年3月14日・北陸新幹線開業

